

◆保健講習会の実施◆

去る6月11日に、本校の養護教諭と看護師を講師として、本校教職員全員を対象に、排泄物・嘔吐物処理の仕方の講習会を行いました。今回、講習会のテーマに排泄物・嘔吐物の処理の仕方を選んだ背景には、昨年度本校が伝染性疾患の集団感染により、学校閉鎖や一部学部閉鎖を余儀なくされたことがあります。本校の幼児児童の健康を維持するためには、こうした講習会を通じて、教職員全員が感染の予防的措置に関する知識と技術を身につけることが大切だと考えました。

また、この日は、医療機器メーカーの方の協力を得て、AED(自動体外式除細動器)の使用方法和心肺蘇生の講習会も行いました、急な事故による心肺停止に対し、救命措置に関する知識と技術も教職員には必要であると考えております。子どもたちの安全を脅かすような事故等を未然に防ぐため、また、万が一生命に影響が及ぶような事故が起きたとしても、それに対処できるような校内体制を今後も強化していく予定です。

なお、ご希望があれば、講習会で使用した「排泄物・嘔吐物の処理マニュアル」をおわけいたしますので、本校の養護教諭または看護師までご連絡下さい。



【嘔吐物の処理の様子】



【心臓マッサージと人工呼吸→AEDの使用まで】